

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:)
)
Toshiki MORI, et al.)
) Group Art Unit: To Be Assigned
Serial No.: To Be Assigned)
)
Filed: January 19, 2000) Examiner: To Be Assigned
)
For: MESSAGE PROCESSING APPARATUS,)
MESSAGE PROCESSING SYSTEM,)
MESSAGE MANAGING METHOD, AND)
STORAGE MEDIUM STORING MESSAGE)
MANAGEMENT PROGRAM)



Handwritten mark resembling a stylized 'Z' or '2'.

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

*Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231*

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, Applicants submit herewith a copy of the following foreign applications:

Japanese Appln. No. 11-140960, filed May 21, 1999.

It is respectfully requested that Applicants be given the benefit of the earlier foreign filing date, as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY, LLP

Dated: January 19, 2000

By: _____

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 Eleventh Street, N.W., Suite 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

Date of Application: May 21, 1999

Application Number: Patent Application
No. 11-140960

Applicant(s): FUJITSU LIMITED

November 19, 1999

Commissioner,
Patent Office Takahiko Kondo

Certificate No. 11-3080653

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JCS11 U.S. PTO
09/487265
01/19/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
in this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

1999年 5月21日

願 番 号
Application Number:

平成11年特許願第140960号

願 人
Applicant(s):

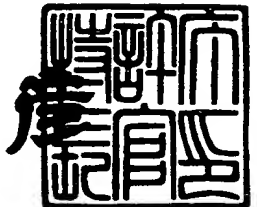
富士通株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1999年11月19日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近 藤 隆



出証番号 出証特平11-30806

【書類名】 特許願

【整理番号】 9950430

【提出日】 平成11年 5月21日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明の名称】 メッセージ処理装置、メッセージ管理方法及びメッセージ管理プログラムを記録した記録媒体

【請求項の数】 16

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 森 俊樹

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 栗城 稔

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 神保 泰幸

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 長沼 清人

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 相原 雅夫

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100074099

【住所又は居所】 東京都千代田区二番町 8 番地 20 二番町ビル 3F

【弁理士】

【氏名又は名称】 大菅 義之

【電話番号】 03-3238-0031

【選任した代理人】

【識別番号】 100067987

【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区太尾町 1418-305 (大倉山二番館)

【弁理士】

【氏名又は名称】 久木元 彰

【電話番号】 045-545-9280

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012542

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705047

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 メッセージ処理装置、メッセージ管理方法及びメッセージ管理プログラムを記録した記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 メッセージの開封状況を示す情報、前記メッセージに関わる業務の受信者の完了状況を示す情報、あるいは前記メッセージで指定される納期が到来したことを示す情報を、端末装置に強制的に表示させる制御手段を備えることを特徴とするメッセージ処理装置。

【請求項 2】 前記制御手段は、利用者が表示の要求を行ったときまたは予め設定した条件を満たしたとき、前記開封状況を示す情報、前記完了状況を示す情報または前記納期が到来したことを示す情報を前記メッセージのタイトルと共に前記端末装置に強制的に表示させることを特徴とする請求項 1 記載のメッセージ処理装置。

【請求項 3】 前記制御手段は、前記メッセージの開封状況を示す情報、前記メッセージに関わる業務の受信者の完了状況を示す情報または前記納期が到来したことを示す情報を含む完了状況表を前記端末装置に強制的に表示させることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のメッセージ処理装置。

【請求項 4】 メッセージの受信者から発信者に自己の担当する業務が完了したことを通知するための確定ボタンを設けたメッセージを作成するメッセージ作成手段を有し、

前記制御手段は、受信者により前記確定ボタンが操作されたとき、前記受信者の担当する業務が完了したものと判断し、前記確定ボタンを操作した受信者数を求め、前記確定ボタンを操作した受信者数が所定値を超えたとき、あるいは全受信者が完了となったとき、前記完了状況を示す情報を端末装置に表示させることを特徴とする請求項 1、2 または 3 記載のメッセージ処理装置。

【請求項 5】 前記メッセージ作成手段は、前記メッセージにより指定される納期に対する受信者の希望する納期を入力するオファナ期の入力欄を設けたメッセージを作成し、

前記制御手段は、前記メッセージのオファナ期の入力欄に入力された受信者

のオフナー納期を発信者の端末装置に表示させることを特徴とする請求項4記載のメッセージ処理装置。

【請求項6】前記制御手段は、前記開封状況を示す情報、前記完了状況を示す情報、あるいは前記納期が到来したことを示す情報を、前記メッセージの発信者の端末装置または受信者の端末装置に強制的に表示させることを特徴とする請求項1、2または3記載のメッセージ処理装置。

【請求項7】前記開封状況を示す情報及び完了状況を示す情報は、開封人数、開封率、完了人数及び完了率を示す情報であり、前記何れかの情報が所定値を超えたとき、または納期が到来したとき、前記情報を前記端末装置に表示させることを特徴とする請求項1、2または3記載のメッセージ処理装置。

【請求項8】前記制御手段は、発信者が指定した日付に達したとき、前記開封状況を示す情報または完了状況を示す情報を前記端末装置に表示させることを特徴とする請求項1、2または3記載のメッセージ処理装置。

【請求項9】メッセージを指定する情報と発信者名と受信者名と受信者毎の開封状況を示す情報、メッセージに関わる業務の受信者の完了状況を示す情報、あるいはメッセージで指定された納期とを対応づけて記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶されている前記開封状況を示す情報、完了状況を示す情報、あるいは指定された納期と現在の日付から得られる納期が到来したことを示す情報を、端末装置に強制的に表示させる制御手段とを備えることを特徴とするメッセージ処理装置。

【請求項10】前記制御手段は、複数のイベントに関する情報を含むイベント予告表を端末装置に表示させることを特徴とする請求項1、2または3記載のメッセージ処理装置。

【請求項11】前記制御手段は、複数の受信メッセージのスケジュールに基づいてイベント予告表を作成し、前記イベント予告表を受信者の端末装置に表示させることで受信者にイベントの内容を報知することを特徴とする請求項1、2または3記載のメッセージ処理装置。

【請求項12】前記制御手段は、時系列の多層構造の複数のイベントの内容とスケジュールと参加メンバーとを対応づけた情報をイベント情報として記憶し、

メッセージ作成時に、前記イベント情報に基づいて複数のイベントからなるイベント予告表を作成して表示することを特徴とする請求項 1，2 または 3 記載のメッセージ処理装置。

【請求項 13】親展のメッセージの転送を制限する情報を設定するメッセージ作成手段を有し、

前記制御手段は、前記情報の設定されている親展のメッセージの転送を制限することを特徴とする請求項 1，2 または 3 記載のメッセージ処理装置。

【請求項 14】メッセージの削除条件を設定できるメッセージ作成手段を有し

前記削除条件の設定されているメッセージを一定期間後に自動的に、あるいは設定された削除条件に基づいて発信者または受信者が任意に削除できるようにしたことを特徴とする請求項 1，2 または 3 記載のメッセージ処理装置。

【請求項 15】メッセージを送信し、

メッセージの開封状況を示す情報、前記メッセージに関わる業務の受信者の完了状況を示す情報、または前記メッセージで指定される納期が到来したことを示す情報を端末装置に強制的に表示させることを特徴とするメッセージ管理方法。

【請求項 16】メッセージの開封状況を示す情報、メッセージに関わる業務の受信者の完了状況を示す情報、または前記メッセージの納期が到来したことを示す情報を端末装置に強制的に表示させるメッセージ管理プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、メッセージを処理するメッセージ処理装置、メッセージの管理方法及びメッセージ管理プログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

複数のメンバーで協同して 1 つの業務を遂行する場合、グループのリーダーは個々のメンバーが担当する作業の進捗状況を知るために、リーダーはそれぞれのメン

バーから作業の進捗状況の報告を受ける必要がある。そのため、リーダーとメンバーとの間で電子メール等によりメッセージをやり取りする必要があるが生じるが、そのときのメッセージのやり取りは以下のようなになる。

【0003】

まず、リーダーが業務の進捗状況を問い合わせるメッセージを作成してメンバー全員に送信する。そのメッセージを受信したメンバーは、それぞれ自分の担当の作業が完了したか否かを報告するメッセージを作成してリーダーに送信する。リーダーはメンバー全員のメッセージを読んでグループ全体の業務の進捗状況を判断する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

上記のようにリーダーがそれぞれのメンバーに担当する作業の進捗状況を問い合わせるメッセージを送信し、メンバーがそれぞれの担当作業が完了したか否かをメッセージで報告する方法では、リーダーはグループの人数分のメッセージを読む必要があり、メンバーの人数が増えるとリーダーの負担が重くなるという問題点があった。

【0005】

また、メンバーは複数のグループに属してそれぞれのグループのリーダーから納期を指定されて業務の依頼を受けることが多いので、複数の業務の納期が重なったり、納期が接近して指定された納期を守れない場合がある。その場合、納期の変更を希望するメッセージを作成してリーダーに送信し、リーダーの承認を受ける必要があり、納期の変更手続が面倒であった。また、リーダーの立場からみると、メンバーが納期の変更を希望しているか否かは、それぞれのメンバーから送られてくるメッセージを読まなければ分からないので、メンバーの人数が多いと、上述した業務の進捗状況の報告を受ける場合と同様にリーダーの負担が重くなるという問題点もあった。

【0006】

さらに、通常、受信メッセージが親展か否かは表示されるが、親展のメッセージであっても転送することができるので、親展のメッセージを誤って他人に転送

してしまう可能性があった。

【0007】

さらに、メッセージのやり取りが多くなると、メッセージ一覧に既読のメッセージのタイトルも表示されるので画面が見づらくなるばかりでなく、不要なメッセージがメモリに多数記憶されて処理速度にも影響するという問題点があった。

【0008】

本発明の課題は、メッセージの開封状況を示す情報、メッセージに関わる業務の受信者の完了状況を示す情報、あるいは納期が到来したことを示す情報を端末装置に強制的に表示させて発信者または受信者がそれらの情報を確認できるようにすることである。また、他の課題は、受信者の希望納期を発信者が一括して知ることができるようにすることである。他の課題は、親展のメッセージが誤って転送されないようにすることである。また、他の課題は、開催時期、メンバー等が予定されているようなイベントに関するメッセージを簡単に作成できるようにすることである。

【0009】

【課題を解決するための手段】

請求項1記載の発明は、メッセージの開封状況を示す情報、メッセージに関わる業務の受信者の完了状況を示す情報、あるいはメッセージの納期が到来したことを示す情報を端末装置に強制的に表示させる制御手段を備える。

【0010】

この発明によれば、メッセージの開封状況、メッセージの受信者の業務の完了状況を示す情報、あるいは納期が到来したことを示す情報が、例えば発信者が要求したとき、あるいは予め設定した条件を満たしたとき、端末装置に強制的に表示させることができるので、発信者または受信者はそれらの情報の内の1つまたは複数の情報を知ることができる。

【0011】

例えば、メッセージに関わる業務を完了した人数が所定値を超えたときに、完了状況を示す情報を表示させるようにした場合には、業務を完了した人数が所定値を超えたときに、受信者全員の完了状況を一度に把握することができる。

【0012】

請求項4記載の発明は、さらにメッセージの受信者から発信者に自己の担当する業務が完了したことを通知するための確定ボタンを設けたメッセージを作成するメッセージ作成手段を有し、制御手段がメッセージの受信者により確定ボタンが操作されたとき、該当する受信者の業務が完了したものと判断し、確定ボタンを操作した受信者数を求め、完了した受信者数が所定値を超えたとき、または全受信者が完了となったとき、完了状況を示す情報を端末装置に表示させる。

【0013】

この発明によれば、請求項1記載の発明の効果に加え、受信者はメッセージ中の確定ボタンを操作するだけで自分が担当している業務が完了したことをメッセージの発信者に知らせることができる。

【0014】

請求項5記載の発明は、メッセージ作成手段が受信者の希望するオフアー納期を入力する入力欄を設けたメッセージを作成し、制御手段がメッセージのオフアー納期の入力欄に入力された受信者のオフアー納期を発信者の端末装置に表示させる。

【0015】

この発明によれば、受信者は受信したメッセージのオフアー納期の入力欄に自分が希望する納期を入力するだけでオフアー納期を発信者に伝えることができるので、納期の変更を希望するメッセージを作成する必要が無くなる。また、発信者側では、個々の受信者から送られてくる納期の変更を希望するメッセージを読む必要がなくなるばかりでなく、複数の受信者のオフアー納期を一括して把握することができるので、個々の受信者のオフアー納期の承認、あるいは全体の納期の調整を効率的に行うことができる。

【0016】

請求項13記載の発明は、制御手段が親展であることを示す情報が設定されたメッセージの転送を制限する。

この発明によれば、親展のメッセージの転送が端末装置の利用者により指示された場合でも、そのメッセージが親展であることを示す情報が設定されていると

きには、メッセージの転送を制限するので、親展のメッセージが誤って他人に転送されるを防止できる。

【0017】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照しながら説明する。図1は、本発明の実施の形態のメッセージ処理システムのシステム構成図である。

【0018】

このメッセージ処理システムは、複数の端末装置11が無線、衛星通信、公衆回線網、LANなどの通信回線12によりメッセージ処理装置（サーバ装置）13に接続されている。メッセージ処理装置13の記憶装置にはメッセージ管理プログラム14と各種のファイルが記憶されている。メッセージ管理プログラム14は、端末装置11におけるメッセージの作成及び発信機能、受信メッセージ一覧、発信メッセージ一覧、完了状況表、メッセージの内容等の表示機能を有している。

【0019】

メッセージファイル15は、メッセージの発信者側の情報が記憶されるファイルであり、例えば、メッセージID、メッセージのタイトル、発信者ID等が記憶される。メッセージ状況ファイル16は、受信者側の情報が記憶されるファイルであり、例えばメッセージID、受信者ID、開封日時等が記憶される。メンバーファイル17は、メッセージの送信先として登録されたメンバーのIDと氏名とを記憶するファイルである。イベントファイル18は、開催日時、メンバー等が予定されている会議等のイベントに関する情報が記憶されるファイルである。

【0020】

まず、メッセージファイル15、メッセージ状況ファイル16及びメンバーファイル17の構成を、図2を参照して説明する。

メッセージファイル15は、メッセージ毎に割り当てられるメッセージIDを記憶する領域15aと、メッセージのタイトルを記憶する領域15bと、発信者IDを記憶する領域15cと、発信日時を記憶する領域15dと、業務等の納期

を記憶する領域 15 e と、メッセージの有効期限を記憶する領域 15 f と、親展のメッセージの守秘レベルを記憶する領域 15 g と、メッセージの削除情報を記憶する領域 15 h とから構成されている。

【0021】

親展のメッセージの守秘レベルを記憶する領域 15 g には、図 3 に示す” 1 ～ 3 ” の 3 種類の守秘レベルが設定可能である。例えば、この記憶領域 15 g に守秘レベル” 1 ” が設定されている場合には、メッセージの転送が制限され、ユーザが転送を指示しても他の端末装置にそのメッセージを転送することはできない。また、守秘レベル” 2 ” が設定されている場合には、該当するメッセージの転送時に警告メッセージを表示してユーザにそのメッセージが親展であることを知らせる。さらに、守秘レベル” 3 ” が設定されている場合には、タイトルの横に親展の文字が強調表示され、あるいはタイトルがそれ以外のメッセージと異なる色で表示され、ユーザにそのメッセージが親展であることを知らせる。

【0022】

また、メッセージの削除情報を記憶する領域 15 h には、図 4 に示す” 1 ～ 4 ” の 4 種類の削除コードが設定可能である。例えば、削除コードを記憶する領域 15 h に” 1 ” が設定されている場合には、メッセージに関わる業務を全員が完了したとき、そのメッセージが自動的に削除される。また、記憶領域 15 h に削除コードとして” 2 ” が設定されている場合には、全員の受信が完了した時点でメッセージが自動的に削除される。また、記憶領域 15 h に削除コードとして” 3 ” が設定されている場合には、発信者または受信者がそのメッセージを削除することができる。さらに、記憶領域 15 h に削除コードとして” 4 ” が設定されている場合には、発信者のみがそのメッセージを削除することができる。

【0023】

図 2 に戻り、メッセージ状況ファイル 16 は、メッセージ ID を記憶する領域 16 a と、受信者 ID を記憶する領域 16 b と、メッセージの開封日時を記憶する領域 16 c と、メッセージに関わる業務の完了日時を記憶する領域 16 d と、受信者の希望する納期（オファー納期）を記憶する領域 16 e とで構成されている。

【0024】

メンバーファイル17は、メンバーIDを記憶する領域17aとその氏名を記憶する領域17bとから構成されている。

この他に、メッセージ本文を記憶するメッセージ本文ファイル19が設けられている。このメッセージ本文ファイル19は、メッセージIDを記憶する領域19aとメッセージ本文を記憶する領域19bとから構成されている。

【0025】

次に、イベントファイル18と受信メンバーファイル20の構成を、図5を参照して説明する。

イベントファイル18は、例えば定期的、あるいは不定期に開催される会議等のイベントを通知するメッセージの情報が記憶されるファイルであり、イベント毎に割り当てられているイベントコードを記憶する領域18aと、イベントの3種類のレベルを記憶する領域18b～18dと、メッセージIDを記憶する領域18eと、メッセージのタイトルを記憶する領域18fと、メッセージの内容を記憶する領域18gと、発信予定日を記憶する領域18hと、発信済か否かを示す情報を記憶する領域18iとから構成されている。

【0026】

イベントのレベルとは、図5に示すように、1レベルとしてイベントの内容を示し、2レベルとして1レベルに対するさらに細かい内容を示し、3レベルとして2レベルに対するさらに細かい内容を示す。つまり、イベントを階層化したデータがレベルとして設定される。例えば、ある特定の部の会議がテーマ毎に定期的で開催される場合に、部の会議のテーマ、開催月、メンバーを階層化したイベントレベルとしてイベントファイル18に設定しておくことにより、そのイベントファイル18に基づいて後述する複数のイベントを表したイベント予告表91（図9）を表示させ、発信者が表示されたイベント予告表91からイベントの開催メッセージ等を簡易に作成することができる。

【0027】

図5の受信メンバーファイル20は、イベントコードを記憶する領域20aとメンバーIDを記憶する領域20bとから構成されており、イベントコード毎に

イベントの参加メンバーを設定できるようになっている。

【0028】

次に、以上のような構成のメッセージ処理装置 13 の動作を説明する。図 6 は、メッセージ個別発信処理のフローチャートを示す図である。

まず、イベントファイル 18 を展開してメッセージを作成するか否かを判別する（図 6，S11）。イベントファイル 18 を展開しない場合には（S11，NO）、メッセージ発信処理 S12 を実行する。このメッセージ発信処理 S12 では、まず、メッセージ発信画面の様式を表示する（S13）。次に、メンバーファイル 17 から宛先を選択する（S14）。さらに、メッセージのタイトル、本文を入力し（S15）、削除コード、守秘レベルを入力する（S16）。削除コードと守秘レベルは、前述した図 4 の 4 種類の削除コードと図 3 の 3 種類の守秘レベルを指定するコードであり、これらのコードを設定することで、メッセージの自動削除、あるいは親展メッセージとして転送制限等の処置が取られる。

【0029】

図 7 は、メッセージ発信画で作成されたメッセージ発信表の一例を示す図である。図 7 の例は、2 人の宛先がメンバーファイル 17 から選択され、タイトルと本文が入力されて、納期として 99/02/24 が設定された例を示している。

【0030】

親展のメッセージか否かを設定する欄には、メッセージを転送できないようにする「転送機能なし」、転送の操作が行われたときに画面上に親展のメッセージであることを表示する「転送抑制」、親展のメッセージを他のメッセージと識別できるようにそのタイトルを強調表示する「強調表示」の各文字列の右隣にチェックボックスが表示され、それらのチェックボックスをマウス等でクリックすることにより、親展の守秘レベルを設定できるようになっている。

【0031】

また、削除条件を設定する欄には、同様に「全員完了で削除」、「受信者削除可能」、「発信者のみ削除可能」の各文字列の右隣にチェックボックスが表示され、それらのチェックボックスをクリックすることでそれぞれの条件を設定できるようになっている。例えば、削除条件として「全員完了で削除」が設定されて

いる場合には、完了率が100%となったときメッセージが自動的に削除される。また、削除条件として「受信者削除可能」が設定されている場合には、受信者側でメッセージを削除することができる。図7の例では、削除条件として「発信者のみが削除可能」が設定されている。

【0032】

さらに、受信者の業務の完了状況を示す完了状況表を表示させること及び受信者個々のオファー納期を示すオファー納期表を表示させることを発信メッセージで指定できるようになっている。図7の例では、完了状況表を表示させることが指定されている。同時に「オファー納期表」の右隣のチェックボックスをクリックすれば、完了状況表とオファー納期表の両方を表示させることができる。

【0033】

図6に戻り、メッセージの発信が終了したなら、メッセージファイル15及びメッセージ状況ファイル16へ発信したメッセージに関する情報を書き込む、つまりメッセージ発信表に入力した情報をそれらのファイルに書き込む（S16）。

【0034】

図6のステップS11でイベントファイル18を展開することが選択された場合には、図8のステップS21に進みメッセージ発信日時またはイベントコードを入力する。発信日時またはイベントコードが入力されたなら、イベントファイル18からそれらの情報で指定されるイベント情報を読み出し（S22）、イベント予告表91を作成して表示する（S23）。

【0035】

図9は、イベント予告表91を示す図である。イベント予告表91には、発信者により指定された日付のイベント、指定された日付の範囲内にあるイベント、あるいは指定された1または複数のイベントコードのイベントが表示される。発信者は、このイベント予告表91に表示されたイベントを選択することで、イベントに関連する発信メッセージを簡易に作成することができる。図9の例は、3つのイベントコードが指定されたときのイベント予告表91の内容を示している。

【0036】

次に、イベント予告表91に表示されたメッセージが受信者が固定されたメッセージか、つまり予め決められた受信者にのみ送信するメッセージか否かを判別する（S24）。受信者固定のメッセージではない場合には、ステップS25に進み受信者名を入力する。

【0037】

受信者名が入力されたならその受信者に、あるいは受信者固定のメッセージであれば予め決められた受信者に対するメッセージの発信を指示する（S26）。メッセージの発信が指示されると、前述したメッセージ発信処理S12が実行され、イベント予告表91に表示されているタイトル、宛先、本文等がメッセージ発信画面に取り込まれ、そのメッセージが発信される。メッセージの発信が終了すると、イベント予告表91の該当するメッセージの発信済か否かを示す情報が発信済に変更される（S27）。そして、その他に作成するメッセージがあるか否かを判別し、さらに発信するメッセージがあれば、ステップS12に戻りメッセージの発信処理を実行し、それ以上メッセージが無ければ処理を終了する。

【0038】

次に、発信者の端末装置に完了状況表を表示させるための完了ステータス通知処理を図10のフローチャートを参照して説明する。

先ず、メッセージファイル15のメッセージの納期が今日を含む日付より過去か否か、すなわち指定された納期が到来したか否かを判別する（図10，S31）。納期が到来している場合には（S31，YES）、ステップS39に進み納期が到来したことを示す完了ステータスを通知する。

【0039】

完了ステータスとしては、図11に示す5種類のコードが予め決められている。コード”1”は、メッセージを受信者全員が開封したことを示し、コード”2”は、メッセージの開封率が所定の閾値を超えたことを示し、コード”3”は、メッセージに関する業務を受信者全員が完了したことを示し、コード”4”はメッセージに関する業務の完了率が所定の閾値を超えたことを示し、コード”5”は、メッセージで指定される納期が到来したことを示している。

【0040】

メッセージで指定された納期が到来していない場合には（S32, NO）、そのメッセージを一人が開封したか否か、つまり新たにメッセージを開封した人があるか否かを判別する（S32）。メッセージを開封した人がある場合には（S32, YES）、ステップS33に進みメッセージ状況ファイル16の該当するメッセージIDの受信者IDに対応する開封日時を記憶する領域16cに現在の日時をセットする。そして、メッセージ状況ファイル16の同一のメッセージIDに対応する他の受信者の開封日時を調べ、受信者全員の開封日時がセットされているか否か、つまり受信者全員がメッセージを開封したか否かを判別する（S34）。

【0041】

全員の開封日時が設定されている場合には（S34, YES）、ステップS39に進み該当する完了ステータスを通知する。この場合、受信者全員が開封したので完了ステータスとして、図11の完了ステータスコードの”1”を通知する。なお、ステップS39で開封率が所定の閾値を超えたとき完了ステータスを通知するようにしても良い。

【0042】

図10のステップS32でメッセージを開封していない場合（S32, NO）、あるいはステップS34がNOの場合には、ステップS35に進み業務を完了した人があるか否か、つまり新たに確定ボタンを操作した人があるか否かを判別する。

【0043】

業務を完了した人がある場合には（S35, YES）、メッセージ状況ファイル16のそのメッセージの該当する受信者の完了日時を記憶する領域16dに現在の日時をセットする。そして、メッセージ状況ファイル16のそのメッセージの他の受信者の完了日時がセットされているか否かを調べ、受信者全員の完了日時が設定されているか否かを判別する（S37）。

【0044】

受信者全員の完了日時が設定されている場合には（S37, YES）、上述し

たステップ S 3 9 に進み該当する完了ステータス、この場合、受信者全員が業務を完了したことを示す完了ステータスコード” 3 ”を通知する。

【0045】

ステップ S 3 7 の判別が N O の場合、つまり業務が完了していない受信者がいる場合には、完了日時が設定されている受信者の数が所定の閾値を超えたか否かを判別する (S 3 8)。

【0046】

完了日時がセットされた受信者の数、つまり担当する業務を完了した受信者の人数が所定の閾値を超えている場合には (S 3 8、Y E S)、ステップ S 3 9 に進み該当する完了ステータス、この場合、完了率が所定の閾値を超えたことを示す完了ステータスコード” 4 ”を通知する。

【0047】

次に、完了状況表を表示する処理について図 1 2 のフローチャートを参照して説明する。

先ず、発信者から完了状況表の表示要求があったか否かを判別する (図 1 2, S 4 1)。発信者から表示要求があった場合には (S 4 1, Y E S)、ステップ S 4 2 に進み完了状況表を表示する。

【0048】

発信者からの表示要求がない場合には (S 4 1, N O)、ステップ S 4 3 に進み発信者が指定した日時に達したか否かを判別する。現在の日時が発信者が指定した日時と一致した場合には (S 4 3, Y E S)。上述したステップ S 4 2 に進み完了状況表を表示する。

【0049】

発信者が指定した日時ではない場合には (S 4 3, N O)、ステップ S 4 4 に進み完了ステータスが通知されたか否かを判別する。完了ステータスが通知された場合には (S 4 4, Y E S)、ステップ S 4 2 に進み完了状況を表示する。

【0050】

ここで、発信者が指定した日時に達したとき、あるいは完了ステータスが通知されたときに発信者の端末装置に強制的に表示される完了状況表 (受信メッセー

ジー一覧表を含む) について図 13～図 15 を参照して説明する。

【0051】

図 13 は、発信者が指定した日時に達したとき、あるいは完了ステータスが通知されたときに発信者の端末装置に強制的に表示される受信メッセージ一覧表 131 を示す図である。

【0052】

完了ステータスが通知されると、完了ステータスが通知されたメッセージの発信者の受信メッセージ一覧表 131 に自分が発信したメッセージが受信メッセージとして表示される。

【0053】

この受信メッセージ一覧表 131 には、メッセージのタイトルに対応させて全受信者数に対するメッセージを開封した人数、開封率、全受信者数に対する担当する業務を完了した人数、完了率が表示され、発信者、あるいは受信者は、それらの情報から受信者の何割がメッセージを開封したか、何人が業務を完了したか等を知ることができる。さらに、そのメッセージのタイトルをマウス等でクリックすることにより、発信メッセージに対する受信者のコメント、例えば個々の受信者のオファー納期等を表示させることができる。

【0054】

図 13 の例では、発信者が自分宛に送信したメッセージ「コメントのテストに対するコメント」を開封すると、開封率が 100% となるので、その時点で完了ステータスが通知され、そのメッセージのタイトル「コメントのテストに対するコメント」が受信メッセージ一覧表 131 の先頭に表示される。従って、発信者は、表示された情報からメッセージの開封状況、あるいはメッセージに関わる業務の全体の完了状況をメッセージを読まずに知ることができる。

【0055】

図 14 は、図 13 の受信メッセージ一覧表 131 に表示された自分宛の発信メッセージ（完了状況表）を開封した場合の表示状態を示す図である。

メッセージの上部の種別の欄には確定ボタンが設けられており、受信者が担当する業務を完了したとき、この確定ボタンを操作すると、メッセージ処理装置 1

3により受信者が業務を完了したものと判断される。

【0056】

メッセージを表示させると、メッセージの本文の下側にそのメッセージの全受信者の名前と、開封日時と、完了、未完了の別と、完了日と、受信者のコメントとからなる受信者状況表が表示される。この受信者状況表から個々の受信者の開封状況、完了状況、コメント等を知ることができる。

【0057】

図14の例では、発信メッセージは自分宛のメッセージであるので、メッセージの下部にメッセージと連携して表示される受信者状況表には「森俊樹」の名前だけが表示されているが、複数の受信者がある場合には、全受信者の開封日時、完了状況を示す情報、完了日時、コメント等が表示される。そこで、その受信者状況表に受信者個々のオファナ期を表示させることで、複数の受信者のオファナ期を一括して確認することもできる。なお、受信者のオファナ期は受信者状況表のコメント欄に表示させても良いし、後述するオファナ期表171を作成して表示させても良い、あるいは他の形式でオファナ期を表示させても良い。

【0058】

図15は、完了状況ステータスがセットされた発信メッセージを一覧表として表示する場合の完了状況表151を示す図である。

完了状況表151は、端末装置の利用者が表示要求を行ったとき、あるいは予め設定した条件を満たしたとき、例えば、利用者が設定した日時となったとき、開封状況を示す情報、完了状況を示す情報、あるいは納期が到来したことを示す情報が所定の条件を満たしたとき、発信者あるいは受信者の端末装置に強制的に表示されるものである。

【0059】

完了状況表151には、開封率が所定値を超えたこと、全員が開封したこと、完了率が所定値を超えたこと、全員が完了したこと、あるいは納期が到来したことを示す情報が、メッセージのタイトルと共に表示されるので、発信者は個々の受信者から送信されてくる完了状況等を報告するメッセージを読まなくとも、メ

ッセージを何人が開封して、業務を何人が完了したか等の情報を、的確なタイミングで知ることができる。これにより、メッセージを発信したリーダは、グループ全体の業務の進捗状況を効率的に把握できるので、多数のメンバーを統括する場合でもリーダの負担を大幅に軽減することができる。

【0060】

次に、受信者がメッセージで指定される納期の変更を希望する場合の処理を図16を参照して説明する。

納期付きのメッセージを受信し、指定された納期の変更を希望する場合には、受信者はオファー納期を入力する（図16，S51）。受信メッセージのオファー納期の入力欄にオファー納期が入力されると、図17に示すようなオファー納期表171が作成され、発信者の端末装置にそのオファー納期表171が表示される。

【0061】

オファー納期表171は、図17に示すようにメッセージのタイトルと、受信者名と、発信者が指定した納期と、受信者のオファー納期と、それに対する発信者の承認、却下の別と、調整後の納期が表示される各欄から構成されている。

【0062】

オファー納期表171が表示されると、発信者は、受信者の希望する納期と、業務のスケジュール等を考慮して納期の変更が可能か否かを判断し、個別にオファー納期の承認または却下を行う。そして、ステップS53で、発信者により受信者の個別のオファー納期が承認されたか否かを判別する。

【0063】

受信者のオファー納期が承認された場合には（S53，YES）、ステップS54に進みメッセージ状況ファイル16の該当する受信者のオファー納期を更新する。さらに、オファー納期表171の該当する受信者の納期を変更する（S55）。受信者の希望する個別の納期が承認されると、図17のオファー納期表171の「承認」の文字の右隣のチェックボックスが白から黒色となり、その受信者のオファー納期が承認されたことが明示される。

【0064】

受信者の個別のオファー納期が承認されなかった場合には（S 5 3, N O）、ステップ S 5 6 に進みオファー納期を却下するか否かを判別する。個別のオファー納期が却下された場合には（S 5 6, Y E S）、ステップ S 5 7 に進みオファー納期表 1 7 1 の該当する受信者の「却下」の文字の右隣の四角のチェックボックスが白から黒色となり、オファー納期が認められなかったことが明示される。

【0065】

受信者の個別のオファー納期を承認も却下もしない場合には（S 5 6, N O）、ステップ S 5 8 に進み全体の納期の調整が行われたか否かを判別する。全体の納期調整が行われた場合には（S 5 8, Y E S）、ステップ S 5 9 に進みメッセージ状況ファイル 1 6 のオファー納期を調整後納期に変更し、オファー納期表 1 7 1 の調整後納期を表示する欄に調整後の納期を書き込む。

【0066】

上述した実施の形態によれば、メッセージの受信者の開封状況を示す情報、完了状況を示す情報、あるいは納期が到来したことを示す情報が、発信者または受信者が表示要求を行ったとき、あるいはそれらの情報が一定の条件を満たしたときに、受信者全体の開封状況、完了状況を示す情報、あるいは納期が到来したことを示す情報が発信者の端末装置に強制的に表示されるので、発信者は、個々の受信者からの業務の進捗状況を報告するメッセージ等を読まなくとも全員の状況を的確なタイミングに一度に把握することができる。

【0067】

また、発信メッセージ中に受信者が希望する納期を入力する欄を設け、そのオファー納期をオファー納期表 1 7 1、あるいは完了状況表に受信者毎に表示することで、発信者は複数の受信者のオファー納期を一覧表の形式で確認することができるので、メンバーと発信者であるリーダとの間の納期の調整を受信者からの個々のメッセージを読まずに、かつ容易に行うことができる。

【0068】

さらに、メッセージが親展の場合、そのメッセージの転送を制限する情報をメッセージに対して設定することにより、メッセージの受信者が誤って親展のメッセージの転送を指示しても、転送を阻止したり、転送前に親展メッセージであ

ることの警告表示をしたり、あるいは親展メッセージであることが分かるようにそれらのメッセージを強調表示することで、親展メッセージが誤って他人に転送されるのを防止できる。

【0069】

また、メッセージを削除する条件を設定できるようにすることで、一定の条件、例えば全員が業務を完了したとき、メッセージを自動的に削除すること、あるいは受信者または発信者が削除できるようにし、不要なメッセージがいつまでの画面上に表示されないようにすることができる。

【0070】

図18は、上述したメッセージ処理装置で実行されるメッセージ管理プログラム14を、CD-ROM、フロッピーディスク等の可搬記録媒体1801、あるいはプログラム提供者の有する記憶装置に記憶しておいて、そのプログラム1802をユーザの処理1803にロードして実行する場合の説明図である。

【0071】

メッセージ管理プログラム14がCD-ROM、フロッピーディスク等の可搬記録媒体1801に記憶されている場合には、その可搬記録媒体1801を処理装置1803のドライブ装置1804に挿入してプログラムを読み取り、読み取ったプログラムをRAM、ハードディスク等のメモリ1805に格納してプログラムを実行する。

【0072】

また、プログラム提供者から通信回線を介してプログラムが提供される場合には、プログラム提供者の記憶装置、メモリ等に格納されているメッセージ管理プログラム14を通信回線を介して処理装置1803で受信し、受信したメッセージ管理プログラム14をRAM、ハードディスク等のメモリ1805に格納して実行する。

【0073】

なお、上述した実施の形態では、メッセージ処理装置13内にメッセージ管理プログラム14、メッセージファイル15、発信及び受信メッセージ等を記憶するようにしたが、それらを記憶する記憶装置をメッセージ処理装置13と別に設

け、メッセージ処理装置 13 が通信回線を介してその記憶装置をアクセスしてメッセージの書き込み、読み出し等を行うようにしても良い。

【0074】

【発明の効果】

本発明によれば、メッセージの開封状況、メッセージに関わる業務の完了状況、あるいは納期が到来したことを示す情報を端末装置に強制的に表示するようにしたので、メッセージの発信者、あるいは受信者は、そのメッセージがどの程度受信者に開封されているのか、業務がどの程度完了しているのか、あるいは納期が到来したかなどを的確にかつ一度に把握することができる。また、指定された納期に対する個々の受信者のオフアー納期を発信者に知らせることができるので、発信者は、受信者のオフアー納期を一度に把握して、個々の納期、あるいは全体の納期を調整することができる。さらに、例えば、定期的に行われる会議の連絡メッセージなどを時系列に並ぶ多層構造のイベントファイルとして保存し、メッセージ作成時にそのイベントファイルからイベント予告表を作成して表示させ、そのイベント予告表に基づいてメッセージを作成することにより、必要なメッセージを作成するのを忘れるのを防止できる。また、受信者側では、イベント予告表により受信したメッセージの中の複数のイベントを一括して把握できるので、会議の出席を忘れる等の問題を防止できる。また、親展のメッセージの転送を制限する情報をメッセージに対して設定できるようにすることで、親展のメッセージが他の人に誤って転送されるのを防止できる。さらに、メッセージの削除条件を設定できるようにすることで、その削除条件に基づいて自動的に、あるいは発信者または受信者が任意にメッセージを削除することができるので、不要なメッセージがいつまでも表示されるのを防止できると共に、メッセージ処理装置に無駄なメッセージが保存されるのを防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

メッセージ処理システムのシステム構成図である。

【図2】

メッセージファイルとメッセージ状況ファイルとメンバーファイルの構成を示

す図である。

【図 3】

守秘レベルの内容を示す図である。

【図 4】

削除コードの内容を示す図である。

【図 5】

イベントファイルと受信メンバーファイルの構成を示す図である。

【図 6】

メッセージ個別発信処理のフローチャートである。

【図 7】

メッセージ発信表を示す図である。

【図 8】

メッセージ展開発信処理のフローチャートである。

【図 9】

イベント予告表を示す図である。

【図 10】

完了ステータス通知処理のフローチャートを示す図である。

【図 11】

完了ステータスの内容を示す図である。

【図 12】

完了状況表を表示するフローチャートである。

【図 13】

受信メッセージ一覧表を示す図である。

【図 14】

完了状況表（メッセージ組み込みのもの）を示す図である。

【図 15】

完了状況表（一覧表のもの）を示す図である。

【図 16】

オファー納期に対する処理のフローチャートである。

【図 1 7】

オファ－納期表を示す図である。

【図 1 8】

記録媒体の説明図である。

【符号の説明】

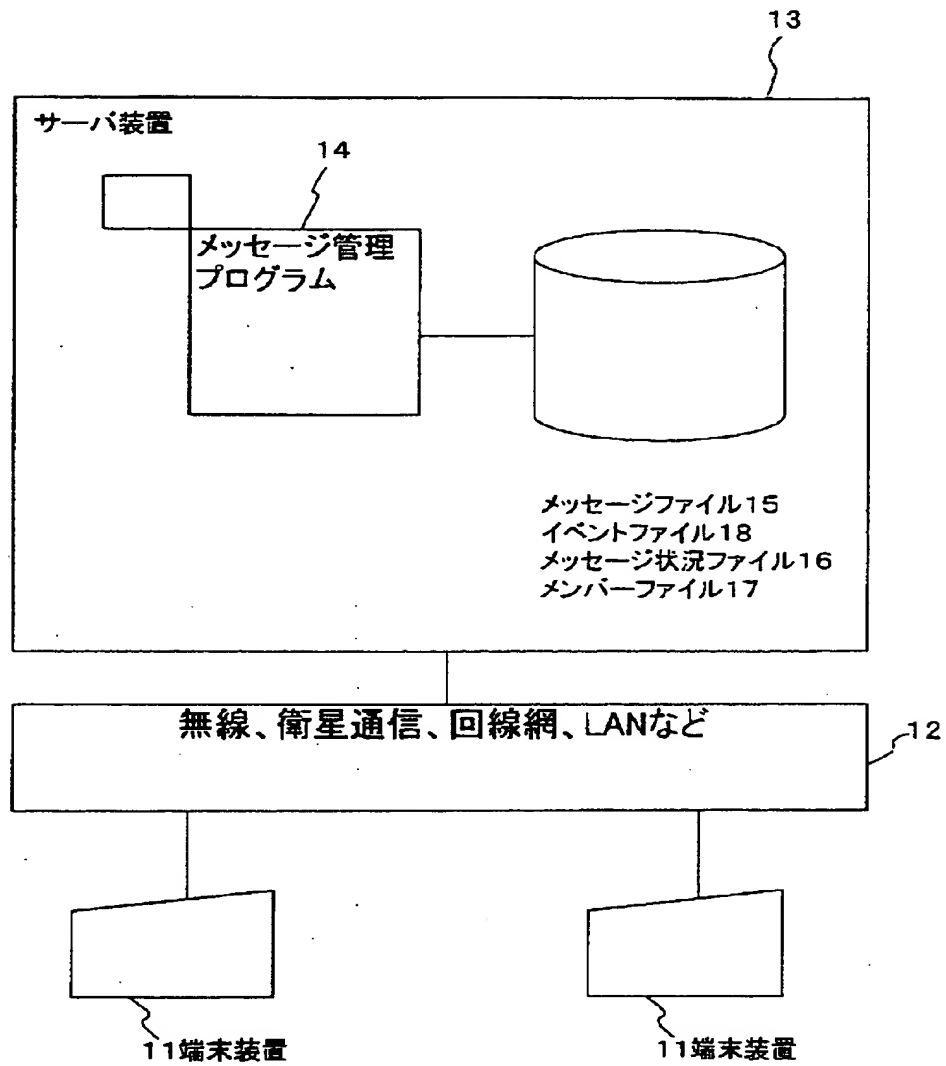
- 1 1 端末装置
- 1 3 メッセージ処理装置
- 1 4 メッセージ管理プログラム

【書類名】

図面

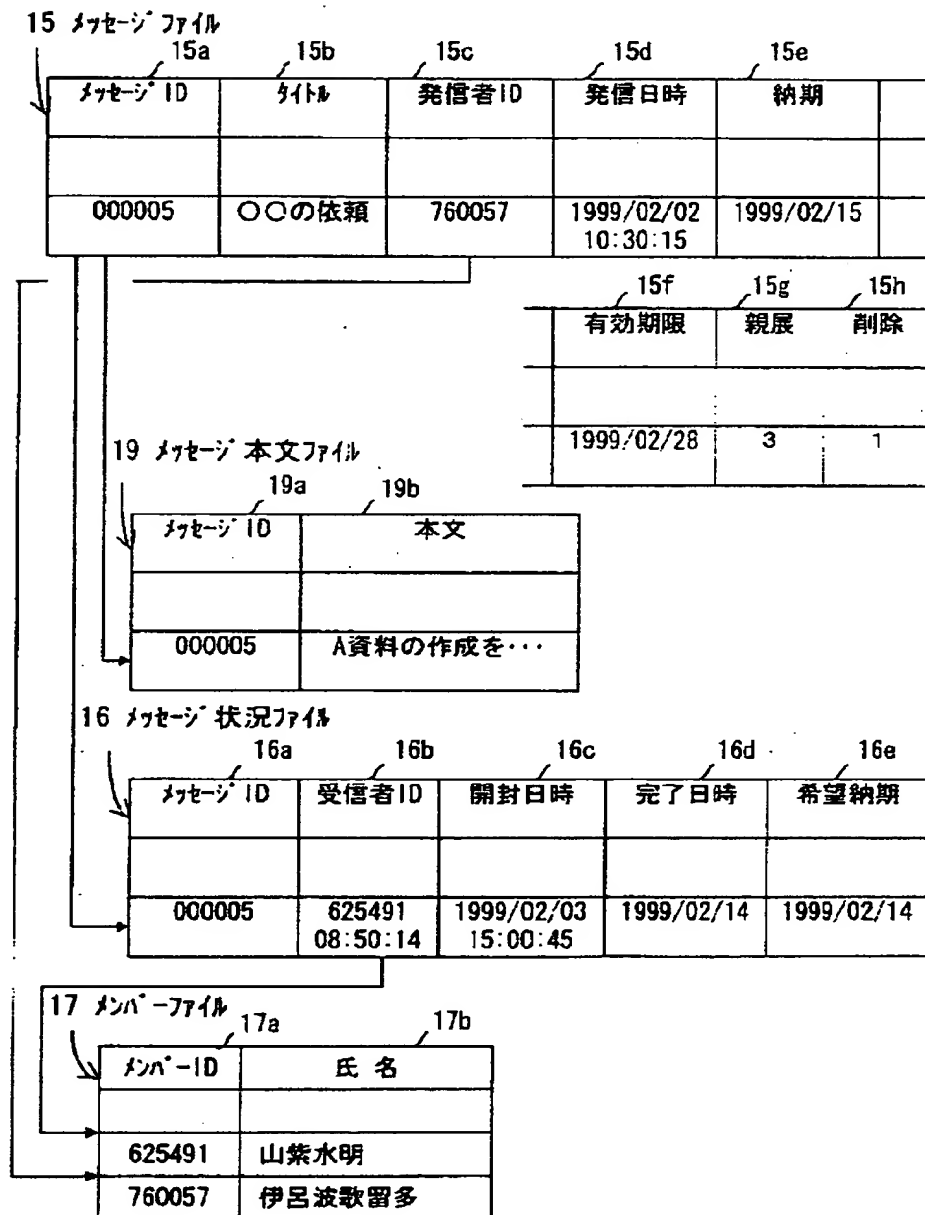
【図 1】

メッセージ処理システムのシステム構成図



【図 2】

メッセージファイルとメッセージ状況ファイル
及びメンバーファイルの構成を示す図



【図 3】

守 秘 し れ べ る の 内 容 を 示 す 図

コード	内 容
1	転送機能の抑制（転送させない）
2	転送機能の抑制（転送時に警告メッセージを表示する）
3	親展の強調表示（タイトルの色変更など）

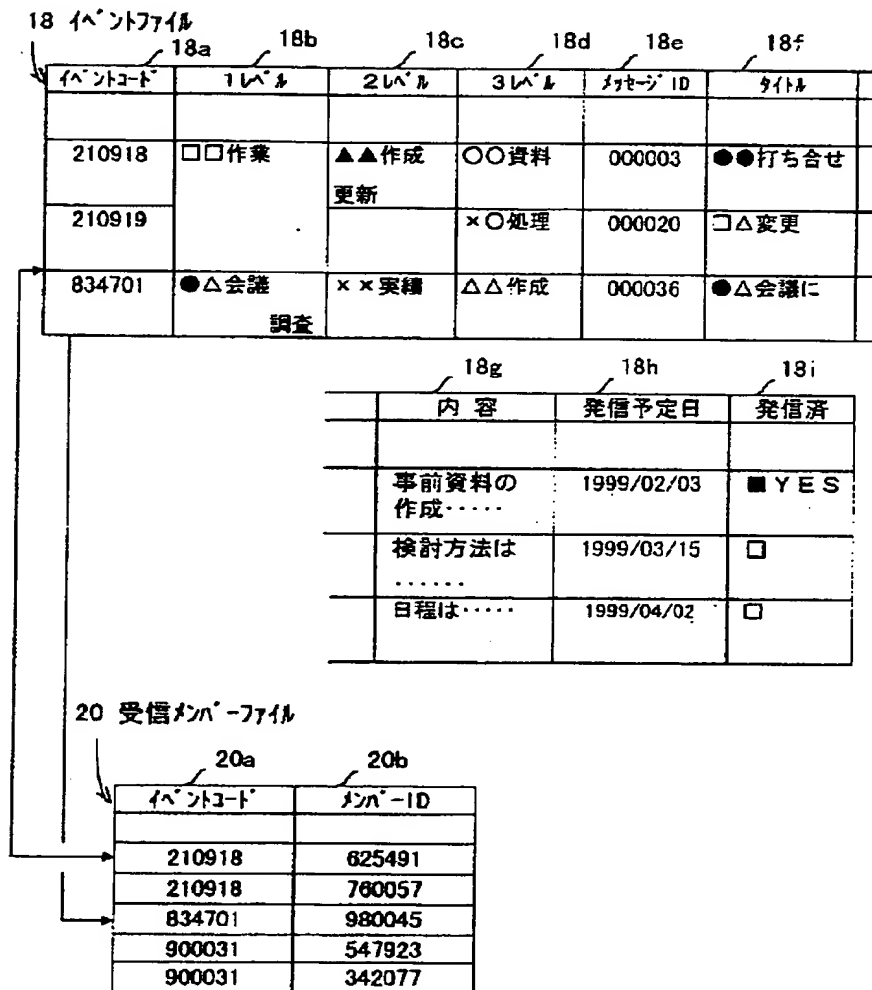
【図 4】

削 除 コー ド の 内 容 を 示 す 図

コード	内 容
1	全員完了で自動削除
2	受信完了で自動削除
3	発信者または受信者が削除可能
4	発信者による削除可能

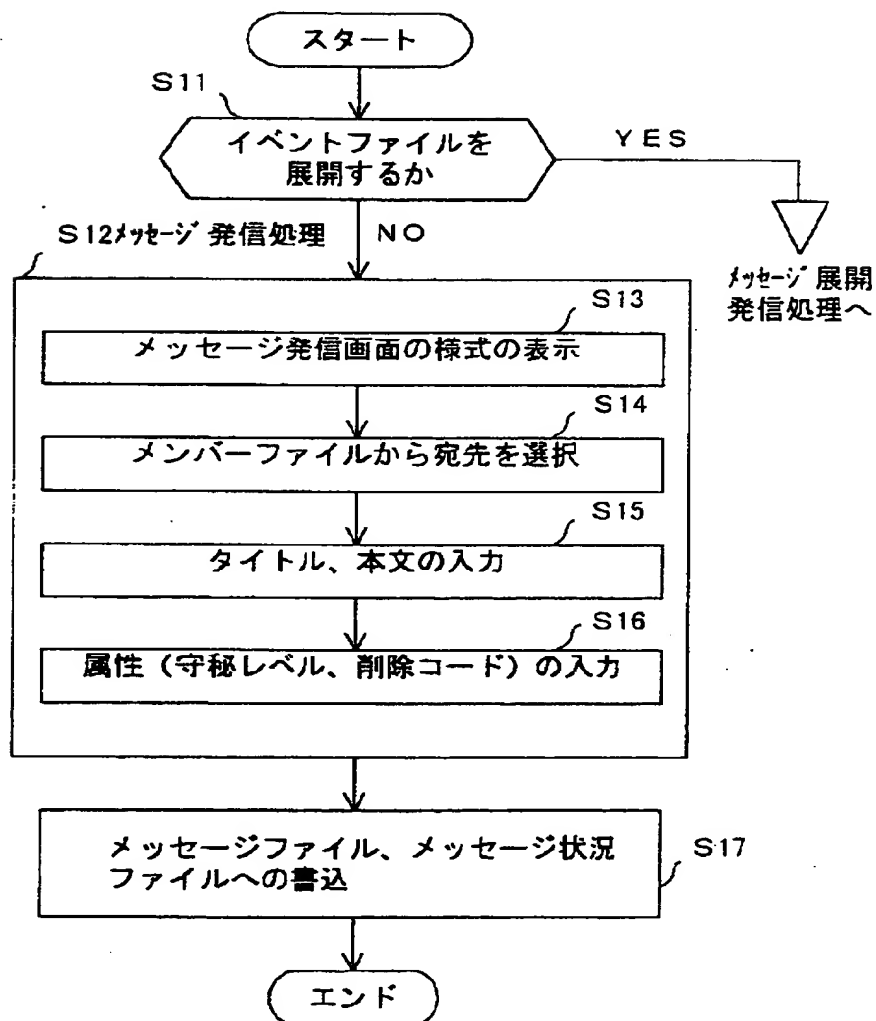
【図 5】

イベントファイルと
受信メンバーファイルの構成を示す図



【図 6】

メッセージ個別発信処理のフローチャートを示す図



【図 7】

メ ッ セ ー ジ 発 信 表 を 示 す 図

発信口		完了口
宛先	岡目清子 海原広	
発信日	1999/02/01	
タイトル	△△のお願い	
本文	表記△△について、……	
発信者	事象有無	
納期	1999/02/24 オファー納期： <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 5px 0;"></div>	
親展	転送機能なし <input type="checkbox"/> 転送抑制 <input type="checkbox"/> 強調表示 <input type="checkbox"/>	
削除	全員完了で削除 <input type="checkbox"/> 受信者削除可能 <input type="checkbox"/> 発信者のみ削除可能 <input checked="" type="checkbox"/>	

展開発信 期間

1999/02/12

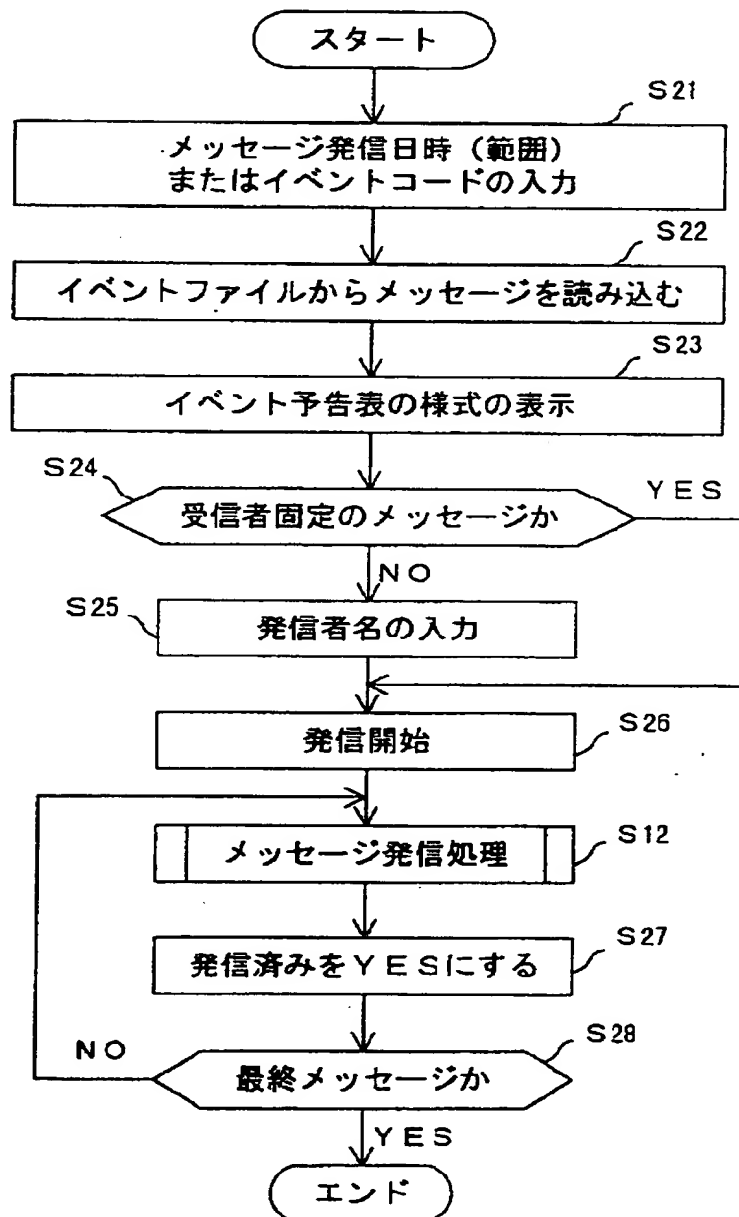
 —

1999/02/28

完了状況表 ☒ 希望納期表 ☐

【図 8】

メッセージ展開発信処理の
フローチャートを示す図



【図 9】

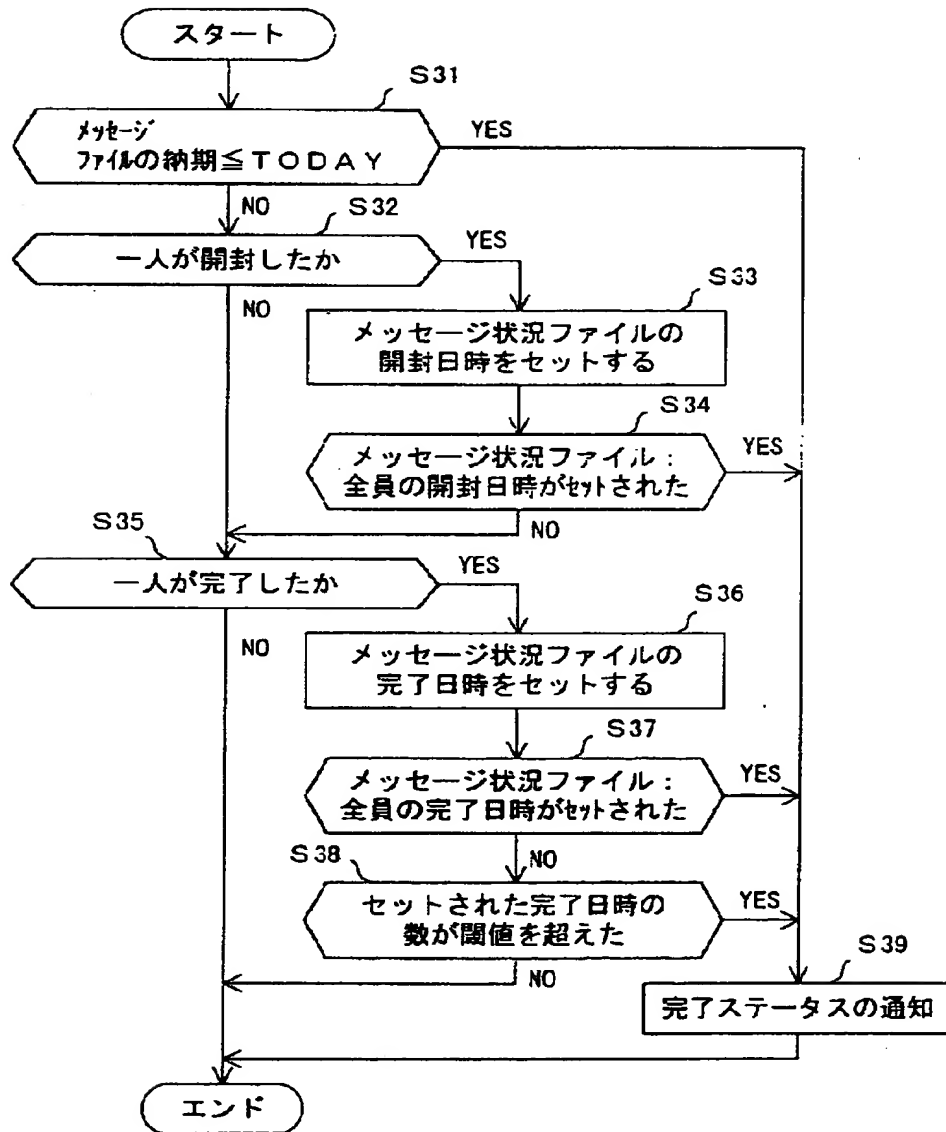
イベント予告表 9 1 を示す図

イベントコード	1レベル	2レベル	3レベル	メッセージID	タイトル
210918	□□作業	▲▲作成 更新	○○資料	000003	●●打ち合せ
210919			×○処理	000020	□△変更
834701	●△会議 調査	××実績	△△作成	000036 ついて	●△会議に

	内 容	発信予定日	発信済
	事前資料の 作成……	1999/02/03	■ YES
	検討方法は ……	1999/03/15	□
	日程は……	1999/04/02	□

【図 10】

完了ステータス通知処理のフローチャートを示す図



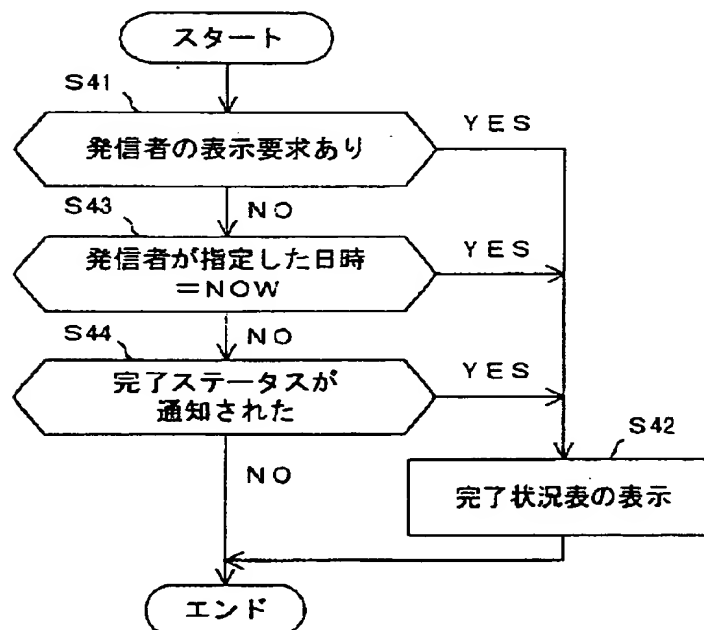
【図 11】

完了ステータスの内容を示す図

コード	内 容
1	納期付きメッセージを受信者全員が開封した
2	納期付きメッセージの開封率が所定の閾値を越えた
3	納期付きメッセージを受信者全員が完了した
4	納期付きメッセージの完了率が所定の閾値を越えた
5	納期付きメッセージの納期が到来した

【図 12】

完了状況表を表示するフローチャート



【図 13】

受信メッセージ一覧表（完了メッセージを含め）131を示す図

開封	完了	タイトル	発信者	発信日時	開封日時	納期
1/1	0/1 (0%)	「コパトのリスト」に対する コパト	森 俊樹	1999/04/19 19:25:45	1999/04/19 19:26:04	
0/14 (0%)	0/14 (0%)	●●について	天気晴朗	1999/02/15 13:30:15		1999/03/03
5/20 (25%)	3/20 (15%)	△△のお願い	山紫水明	1999/02/17 08:05:23	1999/02/20 10:55:19	1999/03/05
5/5 (100%)	3/5 (100%)	◇◇の処理について	晴天霹靂	1999/02/17 09:00:00	1999/02/17 11:14:23	1999/02/18
12/40 (33%)	3/40 (8%)	××の取り扱い について	難波歌留多	1999/02/17 18:45:36	1999/02/18 9:00:00	
1/1 (100%)	0/1 (0%)	〇〇のお知らせ	岡目清子	1999/02/19 09:30:05	1999/02/20 10:59:20	1999/03/15
56/278 (20%)	43/278 (15%)	△△について	有象無象	1999/02/19 10:50:20	1999/02/20 12:20:56	
18/18 (100%)	18/18 (100%)	◎◎の方法について	二宮来光	1999/03/10 15:00:00	1999/03/15 10:00:00	1999/03/20

	本人完了日	全体完了日	有効期限	親展	削除
					発信者による 削除のみ
	1999/02/25				発信者による 削除のみ
	1999/02/17 17:00:40	1999/02/17 20:03:45			
	1999/02/20 12:05:38		1999/02/20	受信者完了 で自動削除	受信者による 削除可能
					発信者による 削除のみ
	1999/02/28 20:06:26				全員完了時 自動削除
	1999/03/15 10:03:40	1999/03/16 13:00:38			

【図 14】

完了状況表(メッセージ組込みのもの)141を示す図

種別	コメント <input type="checkbox"/> 完了チェック <input type="checkbox"/> 確 定																							
コメント	<input type="text"/>																							
発信日	99/04/19 19:25:45 (揭示開始日:99/04/19 19:25:46)																							
タイトル	「コメントのテスト」に対するコメント																							
本文	<p>テスト コメントをいれて完了を押して下さい</p> <p>メッセージに対するコメント状況 (コメント必須メッセージ完了時に発信者に自動通知されます)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名前</th><th>開封日</th><th>状況</th><th>完了日</th><th>コメント</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森 俊樹</td><td>99/04/19</td><td>完了</td><td>99/04/19</td><td>テスト</td></tr> <tr> <td>鈴木 一太</td><td>99/04/19</td><td>完了</td><td>99/04/19</td><td>了解しました。</td></tr> <tr> <td>川崎 久則</td><td>99/04/19</td><td>完了</td><td>99/04/19</td><td>テストです。</td></tr> </tbody> </table>				名前	開封日	状況	完了日	コメント	森 俊樹	99/04/19	完了	99/04/19	テスト	鈴木 一太	99/04/19	完了	99/04/19	了解しました。	川崎 久則	99/04/19	完了	99/04/19	テストです。
名前	開封日	状況	完了日	コメント																				
森 俊樹	99/04/19	完了	99/04/19	テスト																				
鈴木 一太	99/04/19	完了	99/04/19	了解しました。																				
川崎 久則	99/04/19	完了	99/04/19	テストです。																				
発信者名	森 俊樹	<input type="button" value="返信"/>	<input type="button" value="転送"/>	<input type="button" value="本文を流用して発信"/>																				
Cabinet 保管	複写先	文教システム部議事録 ▼	<input type="button" value="保 管"/>	<input type="checkbox"/> 現在の開封状況を付加																				
状況仕掛 未開封	開封: 1/1 (100%) 完了チェック: 0/1 (0%)																							
名前	開封日	状況	完了日	コメント																				
森 俊樹	1999/04/19 19:26:04																							

【図15】

完了状況表（一覧表のもの）151を示す図

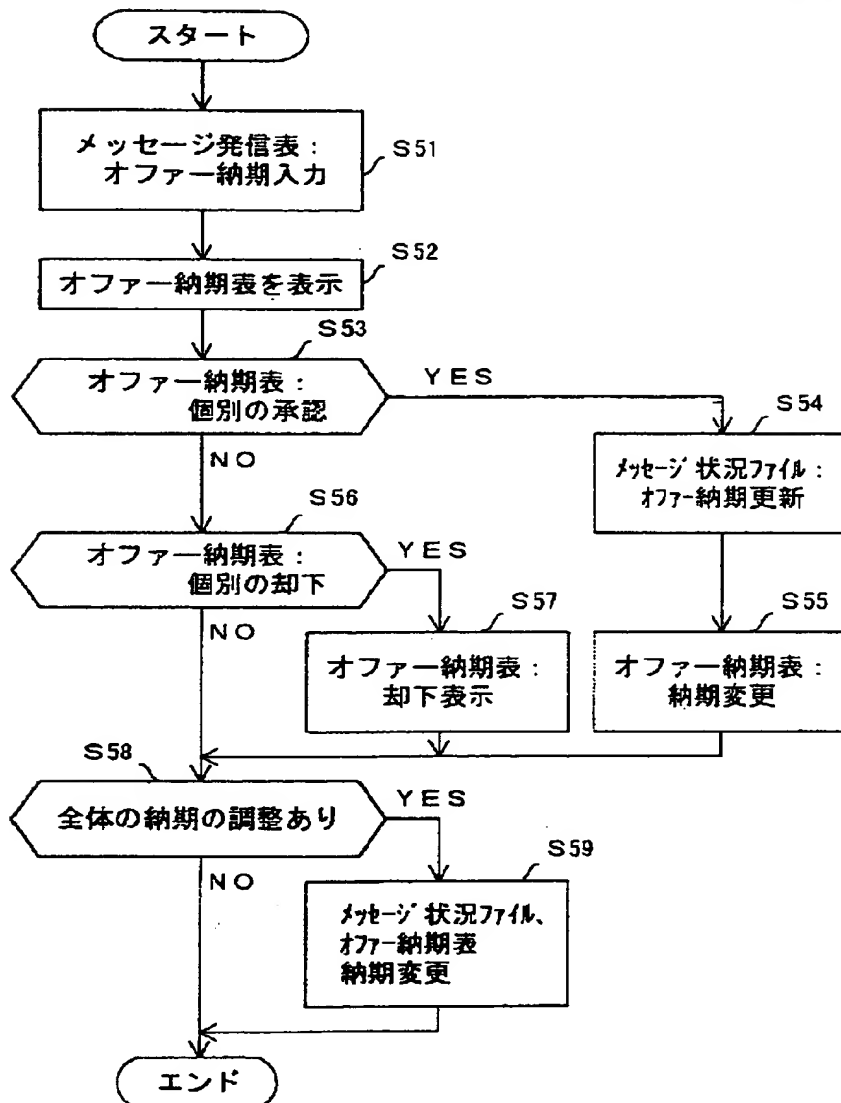
ステータス	タイトル	発信日時	納期	削除
全員開封	△△について	1999/02/10 11:14:07	1999/03/25	<input type="checkbox"/>
70%開封	××のお知らせ	1999/02/17 10:30:43	1999/03/10	<input type="checkbox"/>
全員完了	〇〇のお願い	1999/02/04 11:04:30	1999/02/15	<input type="checkbox"/>
	●●の取扱い について	1999/02/10 08:04:19	1999/02/20	<input type="checkbox"/>
90%完了	▲▲の作成に ついて	1999/01/24 12:00:06	1999/02/03	<input type="checkbox"/>
期日満了	「コメントのテスト」に対する コメント	1999/04/19 19:25:45	1999/04/25	<input type="checkbox"/>

削除OK ☐

種別	コメント <input type="checkbox"/> 完了チェック <input type="checkbox"/> 確定																							
コメント																								
発信日	99/04/19 19:25:45 (掲示開始日:99/04/19 19:25:46)																							
タイトル	「コメントのテスト」に対するコメント																							
本文	<p>テスト コメントをいれて完了を押して下さい</p> <p>メッセージに対するコメント状況 (コメント必須メッセージ完了時に発信者に自動通知されます)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名前</th><th>開封日</th><th>状況</th><th>完了日</th><th>コメント</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森 俊樹</td><td>99/04/19</td><td>完了</td><td>99/04/19</td><td>テスト</td></tr> <tr> <td>鈴木 一夫</td><td>99/04/19</td><td>完了</td><td>99/04/19</td><td>了解しました。</td></tr> <tr> <td>川崎 久則</td><td>99/04/19</td><td>完了</td><td>99/04/19</td><td>テストです。</td></tr> </tbody> </table>				名前	開封日	状況	完了日	コメント	森 俊樹	99/04/19	完了	99/04/19	テスト	鈴木 一夫	99/04/19	完了	99/04/19	了解しました。	川崎 久則	99/04/19	完了	99/04/19	テストです。
名前	開封日	状況	完了日	コメント																				
森 俊樹	99/04/19	完了	99/04/19	テスト																				
鈴木 一夫	99/04/19	完了	99/04/19	了解しました。																				
川崎 久則	99/04/19	完了	99/04/19	テストです。																				
発信者名	森 俊樹	返信	転送	本文を流用して発信																				
Cabinet 保管	複写先	文教システム部議事録 ▼	保管	<input type="checkbox"/> 現在の開封状況を付加																				
状況仕掛 未開封	開封: 1/1 (100%) 完了チェック: 0/1 (0%)																							
名前	開封日	状況	完了日	コメント																				
森 俊樹	1999/04/19 19:26:04																							

【図 16】

オファー納期に対する処理のフローチャートを示す図



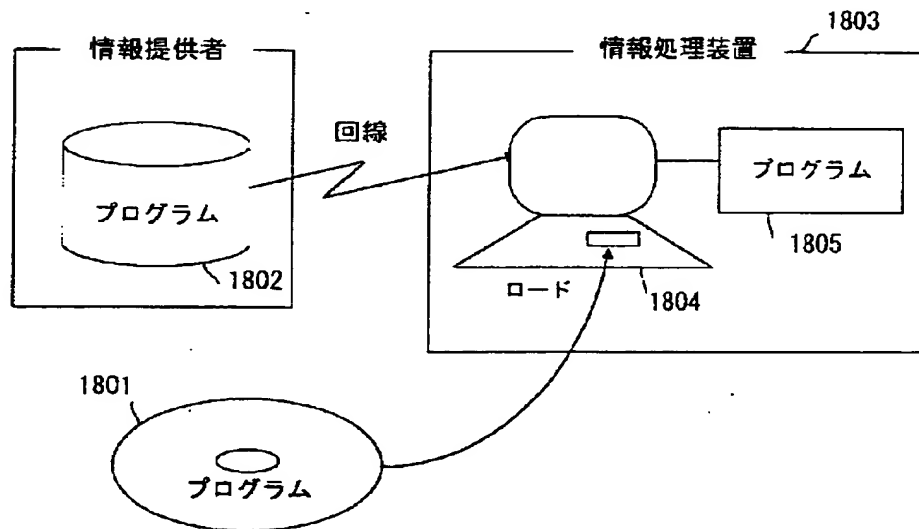
【図 17】

オ フ ァ ー 納 期 表 を 示 す 図

タイトル	受信者	発信者納期	オフー納期		調整後
〇〇について	天気晴朗	1999/02/20	1999/03/20	承認 <input type="checkbox"/>	1999/04/14
	波間はるか		1999/03/15	却下 <input type="checkbox"/>	
□△の処理	青空澄夫	1999/03/30	1999/04/10	承認 <input type="checkbox"/>	
				却下 <input type="checkbox"/>	

【図 18】

記 録 媒 体 の 説 明 図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】メッセージの開封状況、メッセージに関わる業務の完了状況を発信者に知らせることである。

【解決手段】発信者から完了状況表の表示要求があったとき（図 1 2，YES）、発信者が指定した日時に達したとき（S 4 3，YES）、あるいは開封率が一定値を超えたときまたは完了率が一定値を超えたときセットされる完了ステータスが通知されたとき、メッセージの開封人数、開封率、メッセージに関わる業務の完了人数、完了率等の情報を含む完了状況表を端末装置に強制的に表示させる（S 4 2）。

【選択図】 図 1 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社